

## ご使用になる前に必ずお読みください



このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず次の指示と「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、本機を正しくお使いください。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

本機は、Windows® および Macintosh の各 OS (オペレーティングシステム) に対応しています。

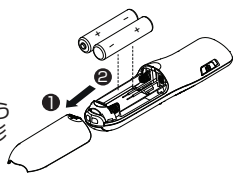


- プレゼンター機能を使用する前に、使用するソフトウェアに合わせて本体左横の電源 / プレゼンターモードスイッチを正しく設定してください。設定が不適切な場合、正しく動作しないことがあります。
- 本機ご使用前に、USB レシーバーをお使いのパソコンに接続してください。
- 最新の OS・ソフトウェア対応状況はキャノンホームページ (canon.jp/laserpointer) よりご確認ください。

## ご使用前の設定

### 電池を交換する

- 1 本体裏面の電池ふたを矢印の方向に押しながら外します。
- 2 極性 (+、-) を間違えないように注意し、電池ケースに単 4 形乾電池 2 本を入れてから電池ふたをもとの位置に戻します。



バッテリーインジケーターの色は通常緑色ですが、電池残量が少なくなるとオレンジ色に変わります。赤くなるともうすぐ電池切れです。すみやかに電池を交換してください。本機で使用できる電池は単 4 形乾電池です。交換の際も同じ種類のものを使用してください。

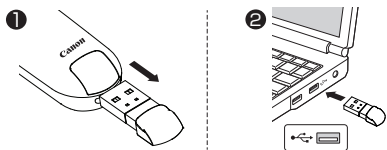


- 電池を交換する際は、小さなお子様が誤って電池を口に入れないように手の届かない場所で行ってください。万一、飲み込んだ場合ただちに医師にご相談ください。
- 破裂や火災の原因になることがあります。
  - 電池を充電したり分解しないでください。
  - 電池を温度の高い場所に置いたり、直接加熱したり、焼却しないでください。

### 電池使用上のご注意

- 電池の極性 (+、-) を間違えないように入れてください。電池の極性を間違えて入れると事故の原因となります。
- 使用済みの電池は、+ 極と - 極をテープで絶縁してから、お住まいの地域の廃棄基準に従って廃棄してください。
- 電池はあまり使用しない場合でも少なくとも 2 年に 1 回は交換してください。
- 電池の残量が少なくなった状態で本機を使い続けると、誤操作が生じたり、保存したメモリが破損したり消えてしまったりすることがあります。大切なデータは常に書き留めるようにした上で、電池はできるだけ早く交換してください。
- 液もれなどによる故障を防ぐため、長時間使用しないときや電池を使い切ったときは電池を取り出してください。

### USBレシーバーを接続する



- 1 本体表側から USB レシーバーを取り出します。
- 2 お使いのパソコンの USB ポートに USB レシーバーを接続します。(ソフトウェアのインストールは不要です。)
  - ※ Mac に接続し「キーボード設定アシスタント」画面が開いたときは、指示された操作はせずにそのまま閉じてください。
- 3 電源 / プレゼンターモードスイッチを使用するソフトウェアに合わせて「Keynote」または「PowerPoint」に合わせます。
- 4 自動的に接続を開始します。

### 使い方のヒント

- 本機をパソコンと接続する前に、必ずパソコン内のデータのバックアップをお取りください。
- パソコンと本機の間で接続がうまくいかないときは次の手順をお試しください。
  - (1) USB レシーバーをパソコンから取り外し、再度 USB ポートに接続します。そして電源 / プレゼンターモードスイッチの位置を「Keynote」または「PowerPoint」に動かします。
  - (2) (1)を試してもうまくいかないときは USB レシーバーをパソコンから取り外し、本体を電源オフしてからさらに次をお試しください。
    - a ①、②、③ の 3 つのキーを同時に押します。3 つのキーを押したまま電源 / プレゼンターモードスイッチを動かし電源オンします。バッテリーインジケーターが緑色と赤色に交互に点滅するまで 3 つのキーを押したままにします。
    - b バッテリーインジケーターが点滅を始めたなら 3 秒以内に USB レシーバーをパソコンの USB ポートに接続します。
- ※ 接続が確立されると、バッテリーインジケーターが緑色に点滅します。接続に失敗したときは赤色に点滅します。(どちらも点滅したあと消えます。)
- ※ バッテリーインジケーターが赤色で点滅したときはもう一度お試しください。
- 他のパソコンで本機を使用する場合は、再度 USB レシーバーの接続を行ってください。
- パソコンとの接続には乾電池からの電源供給が必要です。電池残量が不足していると本機はパソコンと接続することができません。
- 本機の使用が終了したら、パソコンから USB レシーバーを取り外し、本体表側の所定の場所に戻してください。

## 仕様

型式	: キヤノン「PR500-RC」
電源	: 単 4 形アルカリ乾電池 x 2 本
推奨使用温度	: 0°C ~ 40°C
外形寸法	: 115mm (奥行) x 29mm (幅) x 24mm (高さ)
重量	: 30g (電池をのぞく) / 53g (電池を含む)
付属品	: USB レシーバー (D20A)、ソフトケース、単 4 形乾電池 x 2 本

- 改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがあります。

## ワイヤレス仕様

周波数	: 2.4GHz
動作距離	: 最大 20 メートル

- ① 接続範囲は、近くに金属物がある場合や、本体と USB レシーバーの相対位置などにより変化する場合があります。(近くに金属物があると通信距離が短くなる場合があります。)
- 本機とパソコンの間の通信には 2.4GHz の周波数を使用しています。本機の近くで同じ周波数の製品をご使用になると、本機が正しく動作しない場合があります。

## 動作環境

### パソコン

- 次の対応 OS がプレインストールされている IBM PC / AT 互換 (DOS/V) 機 / Macintosh
- 本体に USB 2.0 ポートを装備しているもの
- 対応 OS
  - Windows Vista® (SP2 以上)、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Windows® 10
  - Mac OS X 10.5 ~ 10.11、macOS 10.12 ~ 10.15
- 対応ソフトウェア
  - PowerPoint® 2003 ~ 2019
  - PowerPoint® for Mac 2011 ~ 2019
  - Mac 用 Keynote 6.5 ~ 10.0
  - Adobe® Acrobat® Reader® 10、11、2017、DC for Windows® #
  - プレビュー 4.2 ~ 11.0 #
- ◎ #: スライドショー開始・終了機能をご利用いただけません。
- ◎ その他、Windows Vista® (SP2 以上)、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Windows® 10、Mac OS X 10.5 ~ 10.11、macOS 10.12 ~ 10.15 が推奨する動作環境に準拠。
- ◎ 機器の構成により正常に動作しない場合があります。
- ◎ 上記以外の OS をご使用の場合は、動作しません。
- ◎ 以前の OS からアップグレードしたパソコンでの動作保障は致しません。

## 商標、ライセンスについて

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac、OS X、macOS、Keynote は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Adobe、Acrobat、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- その他の会社名および製品、サービス名は、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれの各社の登録商標または商標である場合があります。

RMN : SL1007A (本体) /  
SL1007DA (USBレシーバー)

この製品には適合する規制を識別する目的で規制適合モデル番号 (RMN) が割当てられています。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。

キヤノンレーザーポインターホームページ  
canon.jp/laserpointer

### お問い合わせ窓口

キヤノンお客様相談センター 0570-04-0025  
【受付時間】 平日・土 9:00 ~ 17:00  
休業日: 日・祝日、1月1日~3日、12月31日

- ※ 上記番号をご利用頂けない場合は、03-6634-4273 をご利用ください。
- ※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
- ※ 上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2023年5月現在

## キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 お問い合わせ先 0570-04-0025  
© CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2023  
PRINTED IN CHINA

# Canon

# PR500-RC

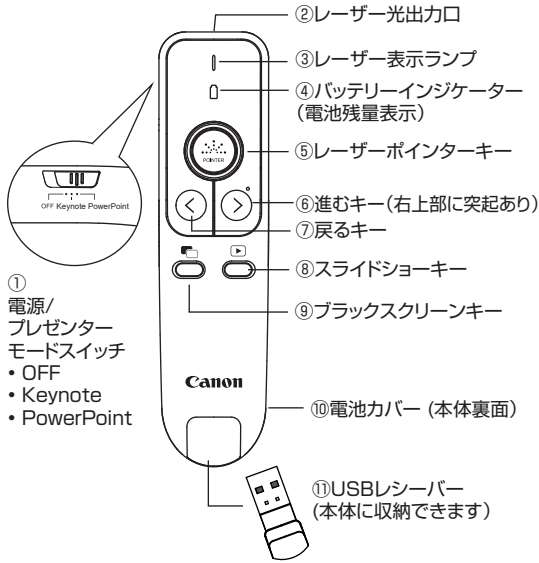


E-IJ-1497

使用説明書

## 各部の名称

本機



① 電源 / プレゼンターモードスイッチ  
電源のオンオフや、プレゼンター機能で使用するソフトウェアを設定するときに使用します。

② レーザー光出力口

③ レーザー表示ランプ  
レーザーポインターキーを押している間点灯します。

④ バッテリーインジケータ (電池残量表示)  
LED ライトの色が 3 段階に変化して電池残量をお知らせします。通常は、電源オンしたとき緑色に点灯します。電池残量が少なくなるとオレンジ色になり、キーを押すごとに点灯します。さらに電池が消耗し、バッテリーインジケータが赤色になるとレーザーポインター機能は正しく動作しないことがあります。この場合はすみやかに電池を交換してください。

### ■ 電池残量と使用できる機能

使用できる機能	バッテリーインジケータの色		
	緑	オレンジ	赤
電源オン	○	○	○
プレゼンター機能	○	○	○
レーザーポインター機能	○	○	△*

\*レーザー光が弱くなるなど、正しく動作しないことがあります。

⑤ レーザーポインターキー  
プレゼンテーションなどで、このキーを押して指し示したり強調したい箇所にレーザーを当てます。

⑥ 進むキー / ⑦ 戻るキー  
プレゼンテーションでスライドショー実行中に、この2つのキーで前後のスライドを表示します。

⑧ スライドショーキー  
スライドショーを開始したり終了するときに使用します。

⑨ ブラックスクリーンキー  
スライドショー中に、ブラックスクリーンに切替えるときに使用します。もう一度押すとスライドショーに戻ります。

⑩ 電池カバー (本体裏面)

⑪ USB レシーバー  
使わないときは本体表側に収納できます。

## レーザーポインター機能を使う

### ■ レーザーポインターを使う

- 1) 本体左横の電源 / プレゼンターモードスイッチを「Keynote」または「PowerPoint」に動かし電源を入れます。
- 2) レーザー光出力口(②)を指し示したい方向へ向け、⑤を押します。レーザーポインターキーを押している間はレーザー表示ランプ(③)が点灯します。

## プレゼンター機能を使う

### ■ 設定

プレゼンター機能を使うときは、本体左横の電源 / プレゼンターモードスイッチを使用するソフトウェアに合わせて「Keynote」または「PowerPoint」に正しく設定してください。設定が不適切な場合、正しく動作しないことがあります。

### ■ 使用できるソフトウェア

プレゼンターモードスイッチを「Keynote」に合わせたとき：  
Mac 用 Keynote

プレゼンターモードスイッチを「PowerPoint」に合わせたとき：  
PowerPoint<sup>®</sup>、PowerPoint<sup>®</sup> for Mac

• Adobe<sup>®</sup> Reader<sup>®</sup> for Windows<sup>®</sup> とプレビューは、プレゼンターモードスイッチをどちらに合わせたも使用できます。

### ■ スライドショーを実行する

⑧を押してスライドショーを開始します。もう一度押すとスライドショーを終了します。

• Adobe<sup>®</sup> Reader<sup>®</sup> とプレビューでは、スライドショー開始・終了機能がご利用いただけません。スライドショーを開始、終了したいときは、パソコンで操作をしてください。

### ■ スライドショー実行中にスライド間を移動する

進むキーの右上に突起があるので、手元を見なくても進むキー / 戻るキーの識別ができ、暗いところでもプレゼンテーションが進められます。

➡ (進む) (右上に突起あり) : 次のスライドを表示します。

⬅ (戻る) : 前のスライドを表示します。

### ■ ブラックスクリーン

⑨を押してパソコンの画面をブラックスクリーン(真っ黒な状態)にすることができます。もう一度押すと元の画面に戻ります。

• Adobe<sup>®</sup> Reader<sup>®</sup> とプレビューはブラックスクリーンに対応していません。

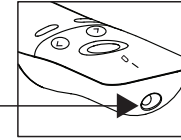
## レーザーの安全基準

本製品はJIS「レーザー製品の放射安全基準C6802 クラス2 レーザー装置」に該当します。また、本製品は「消費生活用製品安全法(PSC)」に適合しているため、安心してご使用いただけます。

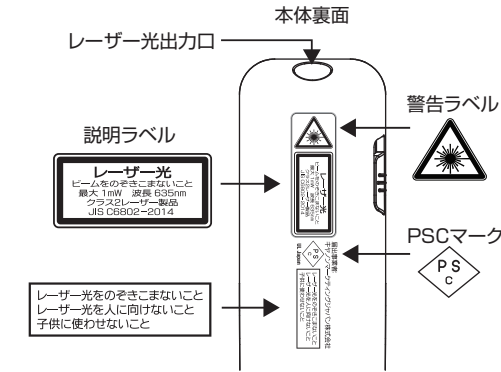
### クラス2レーザー装置

- 最大出力:<1mW
- レーザー波長: 635nm
- レーザー光の種類: 持続波

レーザー光出力口



• 以下のラベルは本体裏面にあります。



## 故障かな?と思ったら

本機がパソコンと接続できない、または正しく機能しない場合は下の事項を確認してください。

- 電池の極性 (+、- の方向) を確認してください。
- お使いのパソコンが動作環境条件を満たしているか確認してください。
- USBレシーバーがパソコンのUSBポートに正しく差し込まれているか確認してください。
- パソコンと本体の間に障害物がある場合は取り除いてください。
- バッテリーインジケータの色が赤くなったときはすみやかに電池を交換してください。
- 本機のUSBレシーバーをノートパソコンに接続した場合、お使いのノートパソコンによってはタッチパッド機能が無効になることがあります。タッチパッド機能を有効にしたい場合は、お使いのノートパソコンのタッチパッド設定を確認してください。

## 抗菌対応

SIAAマークは、ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。



## 安全にお使いいただくために

この装置は、クラスB情報装置です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。  
VCCI-B



警告

取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

- 本体には磁石が内蔵されています。(外側からは見えません。)心臓ペースメーカー等の医療機器を装着されている方は、本体を装着部から十分離して使用してください。磁気が医療機器の誤動作の原因になることがあります。万一、身体の異常が回復しない場合、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 落としたり、ぶつけたり、異臭がするなどの異常が発生した場合はお客様相談センターにご連絡ください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。火災や感電の原因になります。
- 航空機内・病院でのワイヤレス製品使用について  
航空機内での無線機器の使用は、計器に悪影響を及ぼす可能性があるため禁止されています。機内での本機の使用は避け、機内に持ち込むときは電源をお切りください。病院など、電化機器の使用が禁止されている場所で本機を使用しないでください。本機の発する電波により、医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- 小さなお子様の手が届かないように管理、使用してください。
- 絶対にレーザー光を覗き込んだり、人に向けたりしないでください。
- レーザー光を絶対に目に照射しないでください。
- レーザー光を鏡などに照射すると、反射光で目を傷める恐れがあります。
- 本説明書に記載されている以外の操作、修正は、危険な放射被ばくをもたらす可能性がありますのでおやめください。



注意

取扱いを誤った場合に、障害を負う恐れのある内容が書かれています。必ずこの注意事項をお守りください。

- マグネットには磁石類を使用していますので、本体を鉄粉の多いところに置いたり、キャッシュカードなど、磁気で記録されるものに近づけないでください。
- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には重いものを載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して怪我の原因になることがあります。
- 本機の内部に、水や液体、異物(金片)が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、お客様相談センターにご連絡ください。

本機を廃棄する際は、地方自治体の条例に従って処理をするようお願い致します。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。